

ぎょうだ たび ぬりえ 行田の足袋

ぬりえのあそびかた

このぬりえは、本物の足袋の写真をもとに作られています。あなただけのすてきな足袋をデザインしてみましょう。色をぬったり、模様をかいたり、自由に楽しんでください。

ぎょうだ たびづく 行田の足袋作り

足袋は、布をぬいあわせて作るはきものです。つま先が2つに分かれていて、じょうぶな底がついています。下駄やぞうりなど、鼻緒のついたはきものに合わせてはきます。

いつも着物を着て過ごすのが普通だったころは、

下駄やぞうりをはく人がとても多く、足袋もたくさん

作られていました。行田は江戸時代から有名な

足袋の産地で、多い時には一年間で約8400万足

も作っていたことがあります。足袋作りの仕事をする

人が町中にいたので、足袋をぬうミシンの音があちこちで聞こえたということです。



ふゆよう たび
冬の足袋

行田では今も足袋作りが続けられています。靴をはく人が増え、

足袋はちょっと珍しいはきものになってしまったかもしれませんが、

おしゃれなファッションとして足袋をはく人もいます。

* 写真・資料は全て行田市郷土博物館の所蔵です。

